

相手の気持ちを考える

4

みんながえがおで楽しくすごすために

1 ねらい

学校生活で起きた出来事について、登場人物の言動や気持ちを考えることを通して、相手の気持ちを思いやり推し量ったりすることの大切さに気づく。相手を傷つけるような言動をしない、させない、見て見ぬ振りをしない気持ちを養う。

2 準備するもの

○ワークシート

3 解説

いじめの問題が起きる大きな要因として、相手がどんなにいやな思いをしているかを考えずに行動してしまうということがあげられます。

このワークでは、学校生活で起きた出来事を題材にし、一人ひとりが軽い気持ちで行ったことが相手を傷つけたり、いじめにつながったりすることを再認識できるようにしています。いじめは絶対にいけないこと、相手の気持ちを思いやり推し量ったりすることの大切さをクラスで共有していくことが大切です。

4 進め方（展開例）45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れの説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「えがおになるのは、どんなとき？」</p> <p>①例を聞き、何をしているときに自分は笑顔になれるかについて考える。</p> <p>②①について、グループで発表する。他の人は順番に、「～のどんなところが好きですか」など質問したり、「わたしも～が好きです」のように同意したりする。</p> <p>③まとめの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4人程度のグループで行う。 授業者が例示し、児童から質問を受けるなどして、活動の流れが分かるようにする。 アクティビティも含め、他の人の回答に対して共感的に受け止めるように声をかけ、肯定的でない言動があった場合は、毅然とした対応をする。
	<p>・相手の気持ちを積極的に理解しようとしたり、様々な気持ちを知ったりすることで、新しい見方ができたり、今まで気がつかなかったことに気づいたりできる。</p>	

<p>展開 32分</p>	<p>◆アクティビティ (32分) 「みんながえがおで楽しくすごすために」</p> <p>①場面の状況を聞く。</p> <p>②自分が授業中の教室にいたらどうしていたと思うかア～オの中から選ぶ。</p> <p>③Aさんはどのような気持ちになったかを考え、ワークシートに書く。</p> <p>④③について、全体に発表し共有する。</p> <p>⑤Aさんもみんなも楽しく勉強したり遊んだりするためには、自分には何ができるかを考え、ワークシートに書く。</p> <p>⑥⑤について、全体に発表し共有する。</p> <p>⑦自分がAさんのクラスメイトであるとして、①のあとのAさんにあてて手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこととして考えるために選択するので、本心で答えられるよう○をしたりせず、心の中で答えればよいことを伝える。 「～しない」ではなく、「～する」という前向きな内容で書くように伝える。相手を傷つけるような言動を傍観したりせず、相手の気持ちに寄り添って行動することの大切さを理解するように促す。 ②③⑤で答えた内容をふまえて、手紙を書くように伝える。
<p>まとめ 3分</p>	<p>◆まとめ (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通して児童から出された考えなどをもとに、ねらいをおさえまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「みんながえがおで楽しくすごす」ためには、他の人の気持ちに寄り添ったり、思いやったりするなどして、お互いの大切さを認め合い、尊重し合うことが大切であることに気づく。 いじめやいじめにつながるものが起きた時には、傍観したりせず、相手のつらい気持ちに気づき、いじめを防ごうと主体的に行動することの大切さについて理解を深める。 </div>

みんながえがおで楽しくすごすために

()年()組 名前 ()

学校で次のようなことがありました。

ある日の算数のじゅぎょう中に、みんなの前で、Aさんがかんたんな計算の答えをまちがえました。

それを聞いて、ある人が大きな声でわらい出しました。それを見た他の人たちも、くすくすわらいました。

Aさんは悲しそうな顔をして、いすにすわりました。

その日の昼休みのことです。クラスのみんなでおにごっこをして遊びました。

Aさんは走ることがにが手で、つかまえやすかったので、みんなはAさんばかりをねらいました。Aさんは何度もおにになりました。おにになっても、Aさんはなかなかだれかをつかまえることができません。

そのうち、Aさんは教室に帰ってしまいました。

みんなは、そのままおにごっこをつづけました。

- 1 もし、あなたが算数のじゅぎょう中の教室にいたら、どうしていたと思いますか。次のア～オの中からえらびましょう。

ア みんなに「やめなよ」と言うなどして、Aさんを助ける。

イ わらわないうで、だまっている。

ウ みんなといっしょに、くすくすわらう。

エ 大声でわらうなどして、Aさんをからかう。

オ その他

